

玉造教会ニュース

4月号

発行：玉造教会 評議会

編集：玉造教会 広報委員会

〒540-0004

大阪府中央区玉造2-24-22

TEL 06-6941-2332

FAX 06-6941-2605

シャローム

2017年4月2日

413号

リンカちゃんへの返事

崔 周永 神父

リンカちゃん、

この紙面を借りてこの前のプレゼントへの返事を致します。

リンカちゃんから頂きました、折り紙の箱の中に色とりどりの四角い折り紙のしおりと可愛い紙のカエルが二つ、それに子犬四匹が首を寄せ合ってくっている風に折られた手紙など、あの素敵な折り紙作品群を思い出す度に、また手元に置いて見つめていると私は大変幸せな気持ちになります。

日本伝統の模様と色彩に富んだしおり、ページの耳の方にちょこっと付けて置くと一目で読みかけの所が分かります。内側にしっかりと織り込んでいるからかなり丈夫ですし、付けたり外したりを繰り返しても長持ちしそうな代物です。

二匹のカエルといったら、お尻の辺りを指先で弾くととっても可愛く飛び跳ねます。そのうち紫のカエルはより特別でしょう。何故なら、しおりの使い方やカエルとの遊び方を素敵なイラストで描いた紙切れを丁寧に前足に挟んでいたからです。

私は、あまりの驚きと喜びで暫く笑いが絶えませんでした。凄い、素晴らしい、と机の斜め向かいのシスターにも見せてあげたり、マリオ神父様に李ダニエル神父様に、掌に載せると丁度いい具合のしおりを一人に三つ差しあげたりしました。

私は大変観察力が鈍くてリンカちゃんのしおりの素晴らしさが、神父様たちやシスターにあげる前までは気付かなかったのです。好きな色を選んで下さい、と言って、一つひとつ改めて見ていたら、色といい模様といい、大変な工夫が施されたことが分かったのです。

今私の手元にはしおりが五つ、カエルは一匹しか残っておりません。何で、とリンカちゃんは不思議がるでしょう。あげたのです。誰にあげたかは既に書きました。リンカちゃんの美しい心と利発な発想で作られたあの素敵なしおりを、あんなに可愛くぴよんぴよんと飛び跳ねるカエル一匹を人にあげてしまったのか、と、リンカちゃんは不愉快に思ったりしないで下さい。

良いものは人々に全部あげる、と私は決めたのです。リンカちゃんからのプレゼントはあまりにも素敵過ぎて独り占めなんか到底できませんでした。愛らしいあのしおりと、澁刺(はつらつ)と力を蓄えているカエルのことで、紙箱を開けてみた時の私の喜びに勝る喜びを、他の人にも味

わってもらいたかったのです。

良いものを分かち合うこと、そして喜びを分かち合うという素敵なプレゼントをリンカちゃんは私に、またシスターに神父様たちに与えてくれたのです。

素敵なプレゼントもいつかは失くしたりしますが、それへ籠っていた心、つまりリンカちゃんの気持ちと誠意は決して色あせることはありません。

シスターの、神父様たちの、そして私の心の奥深くに鮮明に刻まれているからです。その宝庫にはリンカちゃんの愛情が、しおりやカエル、四匹のやさしく顔を寄せ合っている子犬の温もりがいつもわたし達を慰め和ませてくれることでしょう。

リンカちゃん、あなたはとっても利発で頭の良い御嬢さんです。頭脳明晰な人は自分の能力を自分だけの為に使ってはいけない、自分の幸せだけに目を向けてしまっってはいけないのです。何故なら、リンカちゃんの能力はリンカちゃんのものではなく、神様からのプレゼントだからです。

良いプレゼントは人々にあげなければならない、分かち合うべきです。リンカちゃんの優しい心で、人々を大いに幸せにして欲しい、リンカちゃんの能力を惜しまず発揮して欲しいのです。

人間は自分の能力だけでは駄目です。人々の心を開いてもらうこと、そして人々からの応援と祈りで生かされていくもの。それが人間のあるべきあり方です。

今から旅に立つ私は、日本で祈ってくれているリンカちゃん和他の方々の為に頑張ります。

神様の恵みが豊かにリンカちゃんにありますようお祈り致します。

